

日時 令和5年12月13日（水）午後7時から午後8時10分
場所 松平交流館 大会議室
出席者 鈴木副市長、地域会議委員12名（欠席4名）、企画政策部3名
事務局5名、傍聴者2名

【内容】

1 会長あいさつ

2 副市長あいさつ

3 諮問

(1) 「第9次豊田市総合計画について」答申書受け渡し

鈴木副市長と松平地域会議会長で答申書の受け渡しが行われた。

(2) 答申内容の説明

松平地域会議副会長から答申内容の説明が行われた。

答申書に記載された内容から、強調して伝えたい部分を抜粋して伝えられた。

(3) 全体意見交換

【委員】

- ・議論を重ねる中で、資料で示された言葉がわからない、表現がうまく理解できない、ということがあったため、若者や高齢者にもわかりやすい内容になるように仕上げてほしい。第9次総合計画についても、毎年、市が取り組んでいる内容を広報などで報告していただきたい。

【企画政策部】

- ・第9次総合計画の資料では、行政として日常使用している用語を使用した。今後、わかりやすい表現やわかりにくいところに解説を加えるなど、工夫していきたい。計画策定を進める中で、途中経過を示しつつ、わかりやすい計画策定に努めていく。

【副市長】

- ・将来を考えた際に、新しいトレンドをできる限り拾っていかこうとなり、用語をそのまま使用している。用語をかみ砕きすぎると、意味が変わってしまう可能性もある。わかりやすい表現になるように努めていきたい。

【委員】

- ・各地域から答申を受けて、どの点を考慮して、どの点が反映されたか、わかるようなフィードバックをお願いしたい。1つの地区で神社や集会所を管理するには、戸数の違いで負担も大きく変わってくる。豊田市どこに住んでも負担が同じように感じられるとありがたい。

【委員】

- ・松平には歴史文化がたくさんあり、保存すべきものも数多く存在する。自治区運営していく上で、住民に区費を負担してもらわないと厳しいところもある。山間部の住民の負担が都市部と同等となるといいと思う。

【副市長】

- ・松平が歴史文化の厚い地域だと認識している。それは価値でもあるし、コストでもある。財源は無尽蔵ではないので、いろいろな意見を受け止めながら、地域のいいところを伝えていく、見せていくことが大事である。各地域の魅力をまだ伝えきれていないと思っているため、今後広く伝えていきたい。

【企画課】

- ・答申のフィードバックは今後実施する。構想の部分での反映か、個別の計画での反映になるのか、考え方も含めて、地域会議へフィードバックしていきたい。

【委員】

- ・自治区で活動しているお助け隊は高齢者を中心に組織され、高齢者世帯や独居世帯、障がいをもつ方の困っていることを助ける活動をしている。活動の中で、依頼者から感謝されることもあり、お助け隊員のいきがいや地域に貢献しているという気持ちに繋がっている。施策の中で元気な高齢者を巻き込める取組ができればと思う。人生 100 年時代、高齢者のいきがいややりがいを市が後押ししてもらえるとありがたい。

【副市長】

- ・熊本の天草という地域には、墓守という墓の清掃活動をしている人がおり、天草に来るよりも安い費用で清掃活動を行っている。社会全体的に高齢化が進み、若い人が少なくなり、サラリーマンの年齢層が上がってきたが、いい答えがなかなかない。他の地域のいい事例が繋がるとよいので、お伝えできたらと思う。

【委員】

- ・資料の中には“つながり”というワードが多く使われている印象を抱いた。何を問題意識として捉え、これからにつなげていくのか、教えていただきたい。

【企画課】

- ・“つながり”という言葉は、第 8 次総合計画からの引き継ぎであるが、第 9 次総合計画で“つながり”を再構築していかなければいけないという意見になった。人との“つながり”が自分の役割になり、自分の健康に返ってくるということを学術的に分析された大学教授がいる。その方が強く言われるのが、「“つながり”が切れてしまった、新しく作り直すということは非常に大事である」。コロナの流行という社会背景があるが、それ以外にも、産業が大きく変わり、今までのものではなく、新しいつながりを作っていないといけない。産業分野、技術分野、社会のつながり、こどものつながりが大事だ、という課題認識があるため、つながりという言葉をよく使用している。

【委員】

- ・資料の中で、“つながり”について、デジタルに触れられず、道路という印象を抱いた。どこにデジタルが関わってくるのか、教えていただきたい。旭地区の空き家バンクに力を入れている方と話す機会があり、旭地区は電波が通らないと言われていた。資料では災害にも触れていたが、災害時 Wi-Fi のような災害時の通信についても教えていただきたい。

【企画課】

- ・基本構想の中で、一番大事にしたいのは、物事を考える、その際に必ず立ち返る、原点をしっかりとつけておきたいということで、“つながり”を掲載している。デジタルについては、実現戦略の中で反映していきたい。電波が届かない地域があるということは課題として認識している。この 10 年間で、「電波が入らない」から、「携帯会社によっては電波が入る」、という段階まできている。家の中なら有線で賄えるが、屋外ではどうするのか、今後の課題である。

【委員】

- ・松平地区を訪問される学校の先生方は、ここが魅力的な場所であっても、行き来にかかる費用で頭を悩ませている。こどもに地域への誇りや愛着をもってもらいたいので、費用面の負担を考えていただきたい。

【副市長】

- ・地域への愛着や誇りをもつ活動について、計画の中に反映できれば、それに向けた戦略等に落とし込めるのではないかと。今後、検討していきたい。

【委員】

- ・昨年の市長との意見交換の際に、心に残っている言葉として、「地域に誇りを持てる人は、地域の活動に参加する」ということがある。こどもへ、そのような状況をつくってほしい。

【委員】

- ・松平地域は、まちづくり対策協議会をはじめ、いろいろな議論により、道路やハード整備が進んでいる。道路を作って終わりではなく、それを維持管理、活用していくのが大事である。これから若い世代にどう引き継いでいくのか、第9次総合計画の中で描いてほしい。山間エリアは住宅事情がネックになる。法律や制度は承知しているが、若者が住める地域をつくる、家をつくれるエリアをつくる。今ここに住んでいる人はこの地域を維持しないといけない、という使命感をもっている、そういったことを理解しつつ、計画策定に取り組んでほしい。

4 市議あいさつ

5 報告

(1) 各会からの報告

① 全体会

令和5年10月11日に松平交流館の大会議室で行った第5回全体会及び令和5年11月8日に同じく松平交流館の大会議室で行った第6回全体会について事務局から報告。

第5回の報告事項は、各会からの報告及び令和5年度地域課題解決事業の中間報告について、第10期地域会議委員選考の内容報告についての3点であった。また、協議事項は3点。令和6年度地域課題解決事業 事業計画書の確認については、資料に基づき7事業の概要について事務局が説明を行なった。11月1日発行分のWe Love 松平通信の内容確認については、資料に基づいて、We Love 松平通信の内容確認を行った。意見がある場合は事務局まで報告することとなった。「第9次豊田市総合計画策定」に関する諮問に対する答申協議に関しては、9月の協議結果を踏まえて事務局が作成した答申書（案）に基づき、グループワークを行った。この協議では不十分であったため、令和5年10月27日にも臨時的答申協議を行い、内容を精査した。第6回の報告事項はなく、協議事項が2点あった。「第9次豊田市総合計画策定」に関する諮問に対する答申協議に関しては、これまでの協議結果を反映し答申書（案）の最終確認を行った。また、当日の流れについても確認を行い、意見交換の時間を設けることなどの要望について、事務局が関係課と調整することとなった。今回の修正を反映した答申書を用いて、12月の地域会議にて答申を行う。また、12月1日発行分のWe Love 松平通信の内容確認については、前回の協議等を踏まえて1か月発行を遅らせた通信の内容確認を行った。答申同様、文章表現等の細部まで確認を行った。

② 自然との共存分科会

第6回、第7回の分科会について、分科会長より説明が行われた。

農業振興課実施の鳥獣被害防止対策事業に関して地域に情報を届けていく。また、坂上町の農地貸出に関するチラシの内容確認を行った。4月から畑が利用できるよう、12月～1月頃チラシを展開していく。坂上町の事例を次に繋げるため、農地の発掘から貸出までの仕組みを検討していく。

③ 子育て応援分科会

第6回、第7回の分科会について、分科会長より説明が行われた。

アンケートについて、事務局が作成した案を確認した。依頼文やアンケートの設問において、分かりやすい表現となるよう協議・修正を重ねた。11月の分科会にて最終確認を行った。また、今後の流れについて協議した。アンケート配布は12月中に、こども園や幼稚の負担とならないように行う。その後は1月の分科会以降で結果の分析、支援策の検討を行う。

(2) 第10期地域会議委員選考委員会の内容報告について

第10期地域会議委員選考委員会の現時点までの協議内容について事務局から説明が行われた。

次回会議について

- ・ 日 時：令和6年2月14日（水） 午後7時から
- ・ 場 所：松平交流館 大会議室
- ・ 議 題：第10期地域会議委員選考委員会の結果報告 など

次回分科会開催日

- ・ 自然との共存分科会 1月10日（水）午後7時から
- ・ 子育て応援分科会 1月10日（水）午後7時から